

LMO-UAK V02

INTERNAL ATAPI(E-IDE) MO UNIT

MOユニット・ ユーザーズマニュアル

LMO-UAxK シリーズ



Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	4
ご注意	4
付属品の確認	5
第 1 章 製品のご紹介	6
1 . 1 製品の概要	6
1 . 2 使用環境について	7
1 . 3 各部の名称	9
第 2 章 接続について	10
2 . 1 接続の前に	10
2 . 2 Windows 環境での接続手順について	12
2 . 3 Macintosh 環境での接続手順について	14
第 3 章 接続後の作業	15
3 . 1 Windows 環境へのソフトウェアのインストール	15
3 . 2 Macintosh 環境へのソフトウェアのインストール	18
3 . 3 メディアのセット / 取り出しについて	19
第 4 章 補足事項	24
4 . 1 トラブルシューティング	24
4 . 2 保守とその他	27
4 . 3 オプション品について	28
ハードウェア仕様	29



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	<p>この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。</p>
 注意	<p>この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。</p>



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

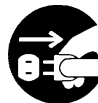


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



分解 / 改造しないでください。

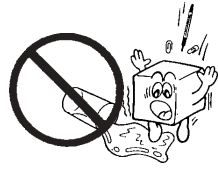
本製品は絶対に分解・改造しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



警告

内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。
万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



水場で使用しないで下さい

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないで下さい。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないで下さい。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源 OFF 直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPU など）があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



静電対策をしてください。

本製品およびパソコン本体には、静電気に弱い部品が使用されています。静電気のたまりやすいカーペットの上などに置かないでください。また、接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分にふれて、体内の静電気を放電してから作業を行ってください。接続時、不要な部分には手を触れないでください。



その他の
強制事項

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

注意

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項

メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをして下さい。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。



ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、OADG(*1)加盟メーカーの DOS/V パソコンで一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

(*1)OADG は「PC オープンアーキテクチャー推進協議会」の略です。

(OADG URL <http://www.oadg.or.jp/>)

付属品の確認

MOユニット (1)	1 台
延長用フラットケーブル	1 本
延長用電源ケーブル	1 本
イジェクトツール	1 個
取り付けネジ (2)	8 本
「LogitecWare」 CD-ROM	1 枚
イジェクトツール	1 個
保証書 / ユーザー登録カード	1 枚
登録カード (B'sCrew)	1 枚
MOユニット・ユーザーズマニュアル	本書

1 5 インチベイハウジングに取付け済みです。

2 取付けネジ 8 本のうち 4 本は 5 インチベイハウジングの取付けに使用済みです。

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

* MS[®]、Windows[®]は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OS は米国アップルコンピュータ社の米国およびその他の国での商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

第1章 製品のご紹介

1.1 製品の概要

本製品は各社の DOS/V パソコン、およびアップルコンピュータ社の PowerMac G4 Mirrored Drive Doors に内蔵可能な 3.5 型 MO ユニットです。

本製品の特徴

黒ベゼルを採用した、Windows と Macintosh 両対応のマルチプラットフォームタイプの MO ユニットです。Macintosh で対応するパソコンは Power Mac G4 Mirrored Drive Doors になります。

Ultra ATA/33 に対応し、最大データ転送速度 33MB/s (理論値) の高速転送を可能としています。

場所をとらない内蔵型モデルです。3.5 インチフロントベイに空きがある場合は、MO ドライブを 5 インチベイハウジングから取り外して設置することもできます。

Windows 環境では MediaID 規格に対応しております。今後様々な形で Media ID (メディア アイディ) を前提とした著作権保護が施されたコンテンツの配信が予定されますが、MediaID 規格に対応していれば、このようなコンテンツを保存 / 再生することが可能です。(Media ID 対応ドライバにつきましては付属の「LogitecWare」CD-ROM をご参照ください。)

LMO-UA2300K (B) は 2.3GB MO メディア (GIGAMO 2.3GB 規格)、1.3GB MO メディア (GIGAMO 1.3GB 規格) に対応しています。

LMO-UA1354K (B) は 1.3GB MO メディア (GIGAMO 1.3GB 規格) に対応しています。

ノーマルタイプの MO メディアの他に、オーバーライトタイプの MO メディアに対応しています。

高速タイプのドライブとドライブ内部のキャッシュメモリにより、高速なアクセスを可能にしています。(詳しい仕様は巻末の「ハードウェア仕様」をご参照ください。)

耐塵設計のドライブを使用していますので、防塵フィルタは必要ありません。(ただし、ディスクのクリーニングは必要です。)

1.2 使用環境について

接続可能なパソコン

本製品は以下の環境条件を満たすパソコンに内蔵可能です。

各社：DOS/V パソコン、日本電気株式会社：PC98-NX シリーズ
5 インチベイ（もしくは3.5 インチベイ）に空きがあり、ATAPI インター
フェースを標準搭載していること。

アップルコンピュータ社：

Power Mac G4 Mirrored Drive Doors



ご注意

発売されているすべての機種で接続確認を行うことは不可能です。一部に対応できない機種が存在する可能性があることは、あらかじめご承知おきください。

本製品を接続するインターフェースは「ATAPI (E-IDE)」である必要があります。旧タイプの「IDE」インターフェースには接続できません。

一部のパソコンでは本製品のようなATAPI (E-IDE) MOユニットをシステムで1台に制限している場合があります。このようなパソコンでは、ATAPI (E-IDE) MOユニットを2台以上同時に接続することはできません。

使用可能な OS

本製品は以下のOSで使用することができます。(いずれも日本語バージョンに限ります。また、パソコン本体がサポートしていないOSでは使用することができません。)

マイクロソフト株式会社	Windows XP Home Edition/Professional Windows Me Windows 2000 Professional Windows 98 (SecondEdition 含む) Windows 95 Windows NT 4.0 (Service Pack6a 以降)
アップルコンピュータ社	Mac OS 9.2.2 Mac OS X 10.2 以降

! **ご注意**

本製品を Windows95 で使用している場合、ATAPI (E-IDE) インターフェース用のドライバのバージョンが古いと正常に動作しない場合があります。詳細については第3章をご参照ください。

使用可能な MO メディア

本製品で使用可能な MO メディアは以下の通りです。

		LMO - UA2300K (B)	LMO - UA1354K (B)	LMO - UA654K (B)
128MB	標準			
	OW			
230MB	標準			
	OW			
540MB	標準			
	OW			
640MB	標準			
	OW			
1.3GB	標準			×
	OW			
2.3GB	標準		×	×
	OW			

標準 = ノーマルタイプ OW = オーバーライトタイプ
 = 使用可能 × = 使用不可 - = 現在このタイプは市販されていません

! **ご注意**

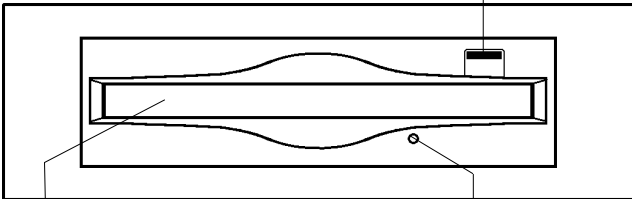
本製品では 128MB の MO メディアへの書き込みが可能ですが、これを行った 128MB の MO メディアを、他の MO ユニットで読み込めるかどうかは、保証の範囲外とさせていただきます。(本製品と同じ MO ユニットでの読み込みは可能です。)
 これは 128MB の MO ユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が最新のドライブと異なる可能性があるためです。他の MO ユニットとのデータ交換は、230MB 以上の MO メディアをご使用ください。

1.3 各部の名称

本製品前面

イジェクトボタン（アクセス表示ランプ）

Windowsが起動していない状態でMOメディアを取り出したいときに使用します。また、このボタンはアクセスを表示する機能もあります。MOメディアに対して読み書きが行われているときに点灯します。



メディア挿入口
MOメディアをセットする部分です。

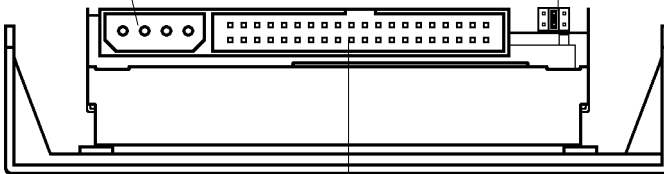
強制イジェクトホール
何かの原因でMOメディアが排出されなくなった場合に使用します。

本製品前面各部の使用法につきましては第3章「3.3 メディアのセット/取り出し」をご参照ください。

本製品背面

電源コネクタ
パソコン本体の内部電源ケーブルを接続します。

ジャンプスイッチ
本製品の動作モードをマスタ/スレーブに設定します。設定方法については、第2章をご参照ください。



インターフェースコネクタ
フラットケーブルでパソコン本体のATAPI (E-IDE) コネクタと接続します。

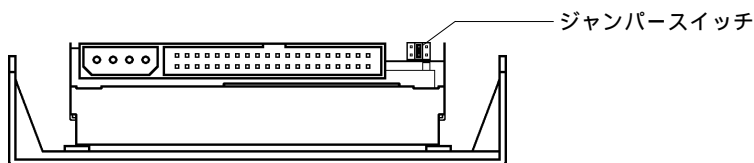
第2章 接続について

2.1 接続の前に




ジャンパースイッチの設定


本製品を接続する前に、背面のジャンパースイッチで本製品の動作モード(マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト)を設定します。

動作モードの設定は下図のように背面のジャンパースイッチで行います。接続する環境にあわせてマスタ/スレーブ/ケーブルセレクトに設定してください。



本製品の場合、以下のようにジャンパープラグを配置することで「マスタ」「スレーブ」「ケーブルセレクト」の設定ができます。

	本製品のみを接続する場合、もしくは、2台接続でマスタとして使用する場合
	2台接続でスレーブとして使用する場合 (出荷時設定)
	ケーブルセレクトで使用する場合(参考)

 = ジャンパープラグをセットする位置

⚠️ ご注意

「ケーブルセレクト」は専用ケーブルを使用することによって、動作モードを自動設定する規格です。

「ケーブルセレクト」はパソコン本体がこの規格に対応していないと使用できません。そのため、パソコン本体のマニュアルで「ATAPI (E-IDE) 機器をケーブルセレクトに設定する」と指定されている場合のみ、この設定にしてください。

この設定を行った場合、専用ケーブルを別途用意する必要があります。

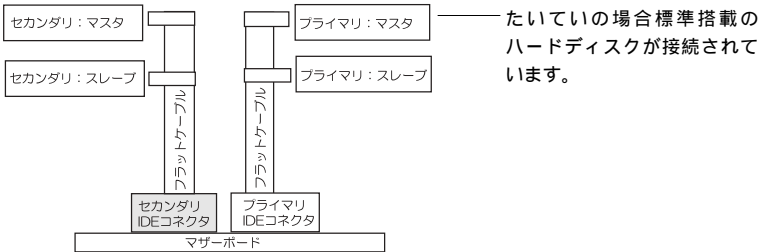


ジャンパースイッチの設定が分からない場合は...

一般のパソコンではマザーボードにプライマリとセカンダリの2つのATAPI(E-IDE)コネクタがあります。

それぞれのATAPI(E-IDE)コネクタには各2台のATAPI対応機器を接続できますが、どちらのコネクタに接続する場合でも、片方をマスタに設定し、もう片方をスレーブに設定しなければなりません。

この設定を行うのがジャンパースイッチです。下の図とご使用のパソコンを見比べて、本製品を「マスタ」に接続するのか、「スレーブ」に接続するのをご確認ください。

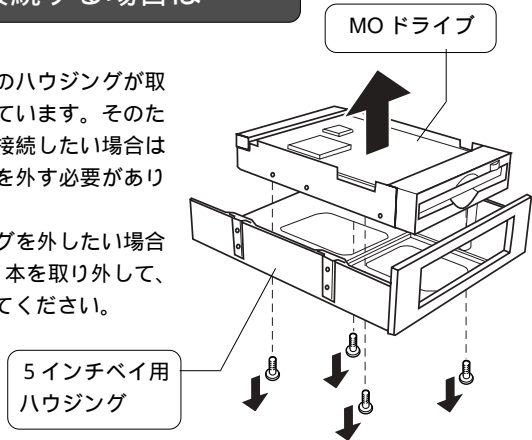


ジャンパースイッチの設定では接続先がプライマリであるか、セカンダリであるかは関係ありません。

3.5 インチベイに接続する場合は・・・

本製品は、5インチベイ用のハウジングが取り付けられた状態で出荷されています。そのため、本製品を3.5インチベイに接続したい場合は5インチベイ用のハウジングを外す必要があります。

5インチベイ用のハウジングを外したい場合は、右図のように底面のネジ4本を取り外して、MOドライブを上を持ち上げてください。



ご注意

- ・本製品を5インチベイに接続する場合、この作業は必要ありません。
- ・3.5インチベイはパソコン本体の機種によって形状や取り扱いがまったく異なります。そのため、本製品を3.5インチベイに接続する場合は、パソコン本体の取扱説明書にしたがって作業を行ってください。

2.2 Windows 環境での接続手順について

ジャンパースイッチの設定が終わったら本製品をパソコンに接続します。



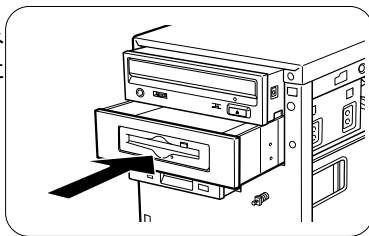
重要なご注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源がONになる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

接続例

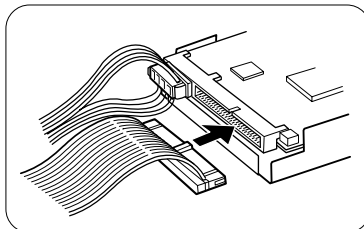
ここでご紹介するのは、あくまでも一例です。パソコンの種類によっては特殊な金具を必要とするものなどもありますので、接続に際してはご使用のパソコンの取扱説明書をご参照ください。

パソコンのサイドカバー、フロントパネル等を取り外し本製品を5インチベイに挿入します。



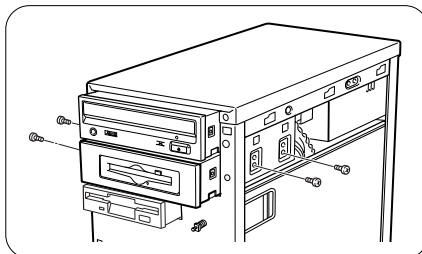
右図のようにコネクタ類の接続をします。その際、方向を確認してしっかりと接続してください。

内部電源ケーブルを
電源コネクタに接続



フラットケーブルをインター
フェースコネクタに接続

本製品を完全に挿入して、付属のネジで固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横から止めます。接続が終了したら、パソコンのカバー等を取付けてください。



Point ポイント

- ・フラットケーブルを接続する際に、プライマリのフラットケーブルに余っているコネクタがない場合や、セカンダリ IDE コネクタにフラットケーブルが付属していない場合には、別売りのフラットケーブルをご使用ください。
別売りフラットケーブルについては第4章「4.3 オプション品について」をご参照ください。

接続結果の確認

接続が終了したら以下の手順で、本製品が正しく認識されているかを確認してください。

パソコンの電源を ON にして Windows のシステムを起動します。
システム起動後、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。
以下のアイコンが新しく登録されていたら本製品は正しく認識されています。



Windows XP で表示
されるアイコン



Windows Me , 98 , 2000 で表示
されるアイコン

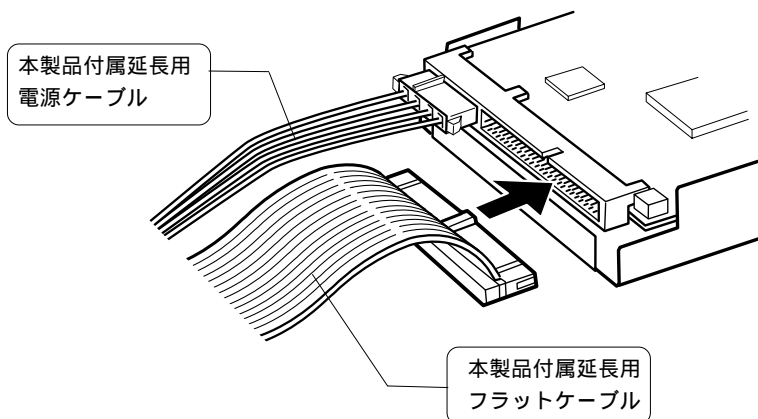
確認後、本製品付属のソフトウェアのインストールを行います。
第3章へお進みください。

本製品が認識されていない場合は「4.1 トラブルシューティング」を参照して、チェックを行ってください。

2 . 3 Macintosh 環境での接続手順について

PowerMac G4 Mirrored Drive Doors へ本製品を接続する場合の手順については、PowerMac G4 Mirrored Drive Doors 付属の冊子「PowerMac G4 の設置と準備」をご参照ください。

ただし接続の前に、MOユニットにあらかじめ本製品付属の延長用フラットケーブルと延長用電源ケーブルを取付けておいてください。(下図参照)



接続が終了したら、本製品付属のフォーマットソフトウェアのインストールを行います。第3章へお進みください。

第3章

接続後の作業

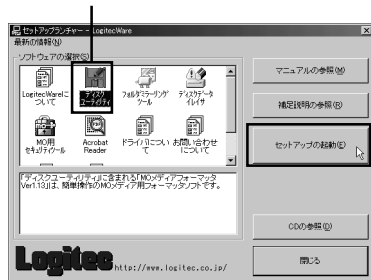
3.1 Windows 環境へのソフトウェアのインストール

Windows環境では接続が完了したら以下を参照して本製品付属のソフトウェアをインストールしてください。

本製品には、MOメディアを使用する上で必要なソフトウェア(フォーマッタ等)が、「ディスクユーティリティ」として添付されています。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクユーティリティ」をインストールしてください。(下図参照)

1. 「ディスクユーティリティ」のアイコンを1回クリックして、選択状態にします。

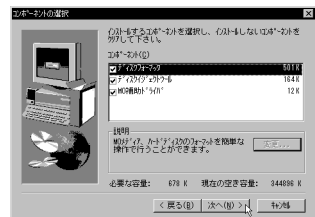


2. 「セットアップの起動」をクリックします。

Point ポイント

Windows Me, 98/95をご使用の場合、ディスクユーティリティには「ディスクフォーマッタ」、「ディスクイジェクトツール」、「MO補助ドライバ」が含まれています。これらのユーティリティは本製品を使用する上で必要ですので、必ずすべてインストールしてください。

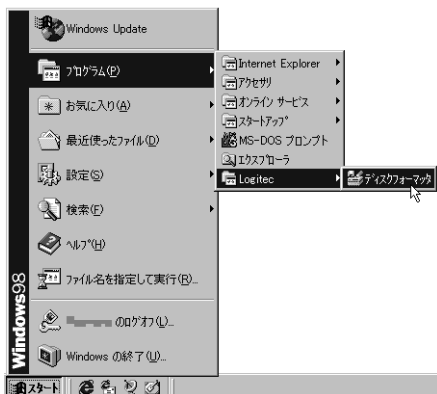
Windows XP, 2000, NT 4.0の場合、ディスクユーティリティは「MOメディアフォーマッタ」のみです。



MO メディアのフォーマットは

MOメディアのフォーマットは「ディスクユーティリティ」に含まれる「ディスクフォーマッタ」(Windows XP, 2000, NT 4.0の場合は「MOメディアフォーマッタ」)で行います。

ディスクユーティリティのインストールが終了したら、ディスクフォーマッタはタスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」「Logitech」とポイントし、「ディスクフォーマッタ」(もしくは「MOメディアフォーマッタ」)をクリックすることで起動できます。




また、Windows Me, 98/95でインストール時にデスクトップ上にショートカットアイコンを作成した場合は、デスクトップ上の右のアイコンをダブルクリックしても起動することができます。



フォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については、ディスクフォーマッタのヘルプメニューから「トピックの検索」を選択し、表示されるヘルプウィンドウで「操作方法」「MOメディアのフォーマット」をご参照ください。

参考

Windows XP, 2000, NT 4.0用のMOメディアフォーマッタにはヘルプはありません。必要に応じて、「LogitechWare」CD-ROMのオンラインマニュアルを参照してください。

 **ご注意**

Windows95上で本製品を使用し、付属フォーマッタでMOメディアのフォーマットを行う場合、ATAPI (E-IDE) インターフェースのドライバのバージョンが古いと、以下のような問題が発生する場合があります。

- ・MOメディアの物理フォーマットを行うとエラーが発生する。
- ・フォーマッタ上から本製品が認識されない。

上記のような問題が発生した場合、パソコン本体のメーカー（もしくはマザーボードメーカー）に、最新のドライバの入手方法をお問い合わせください。

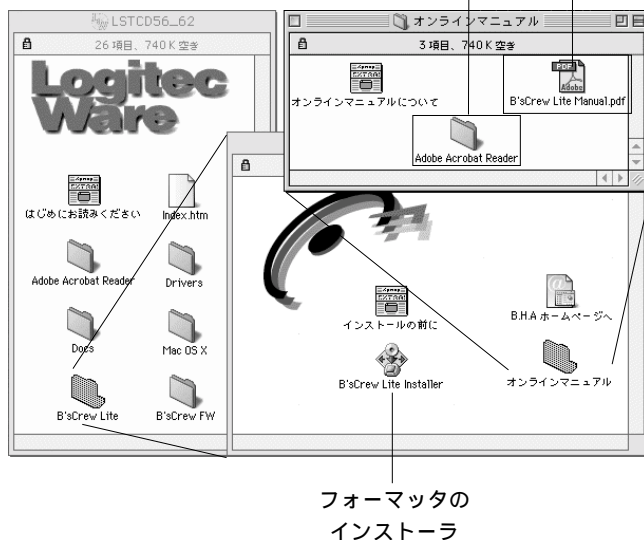
一部、旧タイプのパソコン本体では、ドライバのバージョンアップを行っても不具合が解消されない場合や、ドライバが供給できない場合があります。このような場合にはWindows95標準の手順（MOメディアのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択する）でフォーマットを行ってください。

3 . 2 Macintosh 環境へのソフトウェアのインストール

Macintosh 環境の場合、本製品の接続が終了したら、次にMacintosh用フォーマット「B'sCrew Lite」をインストールしてください。

このフォーマットは、付属の「LogitecWare」CD-ROM に収録されています。インストール手順、およびMOメディアのフォーマット手順については、オンラインマニュアルを参照してください。

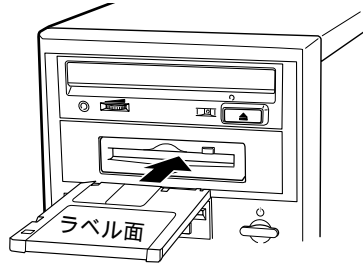
オンラインマニュアルを参照するには、このソフトウェア(Adobe Acrobat Reader)をインストールする必要があります。



3.3 メディアのセット/取り出しについて

メディアをセットするには

本製品にMOメディアをセットする場合は、下図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)

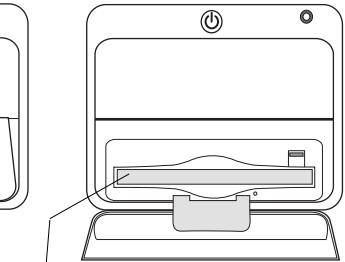
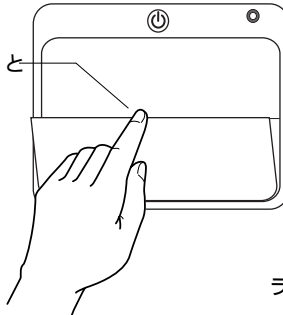


⚠️ ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Power Mac G4 Mirrored Drive Doorsをご使用の場合は、下図のように本製品を内蔵した側のドライブのトレイを覆っている前面パネルを慎重に押し下げて、本製品のメディア挿入口に挿入してください。

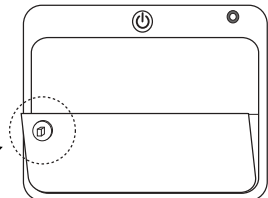
軽く指を差し込みそっと押し下げます。



ラベル面を上にしてセットします。

前面パネルを手で開けるのが困難な場合は、別途、吸着盤のような物をパネルに貼り付けますとスムーズに開閉を行うことができます。

吸着盤



メディアを取り出すときは

Windows 環境の場合

Windows には遅延書き込み機能 (*1) があるため、メディアを取り出すときは本製品前面のイジェクトボタンを使用するよりも、ソフトウェアによる取り出しを行ったほうが安全です。次ページをご参照ください。

- *1 書き込みデータをメモリ上のキャッシュに蓄積することによって、見かけ上高速に書き込みを完了する機能。パフォーマンスは向上するが、書き込みデータがメモリに残った状態で MO メディアを取り出すと、データが失われる危険性があります。

Windows Me , 98/95 の場合

Windows Me , 98/95 上で MO メディアを取り出したい場合は、ディスクユーティリティインストール時にインストールされたイジェクトツールを使用します。タスクバーの右図のアイコンをクリックして、表示されるメニューから本製品のドライブ名を選択してください。

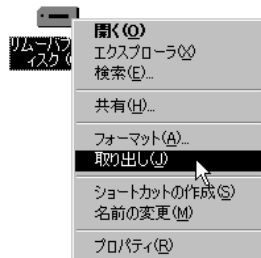


このアイコンをクリックします。

この操作を行うと、MO メディアが 1cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。

Windows XP , 2000 , NT 4.0 の場合

Windows XP , 2000 , NT 4.0 上で MO メディアを取り出したい場合は、「マイコンピュータ」に登録された本製品のアイコン（リムーバブルディスク）を右クリックして、表示されるメニューから「取り出し」を選択してください。この操作を行うと、MO メディアが 1cm ほど排出されますので、静かに引き出してください。





ご注意

- ・ Windows XP, 2000, NT 4.0 で MO メディアを取り出すには、管理者権限を持つグループ(例えば Administrators グループ)のメンバーとしてログオンする必要があります。
- ・ Windows NT 4.0 では、NTFS 形式でフォーマットされた MO メディアをシステムが起動している状態で取り出すことはできません。これを取り出したい場合は、システムを終了してからイジェクトボタンを押してください。

Macintosh 環境の場合

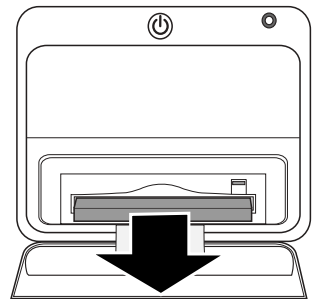
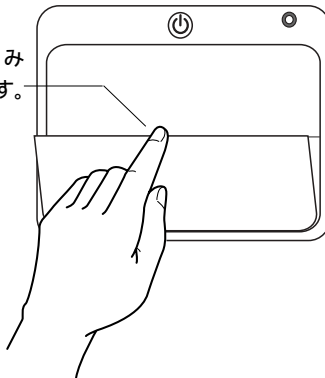
Mac OS 上で MO メディアを取り出したい場合は、以下のいずれかの方法で取り出しを行ってください。

デスクトップ上にマウントされた MO メディアのアイコンをゴミ箱に重ねる。デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、「ファイル」メニューの「取り出し」を選択する。

デスクトップ上のアイコンをクリックして選択状態にして、キーボードから「アップル+E」キーをクリックする。

これら操作を行うと MO メディアがパネル内部で 1cm ほど排出されますので下図のようにパネルを慎重に押し下げて、メディア挿入口から静かに引き出してください。

軽く指を差し込み
そっと押し下げます。

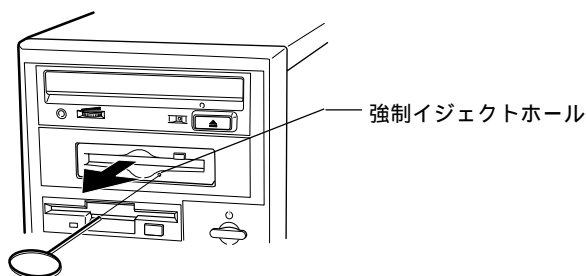


メディアが取り出せなくなった場合

Windows 環境の場合

何かの原因でメディアが取り出せなくなってしまった場合は、まず本製品のアクセス表示ランプが点灯していないかをチェックしてください。点灯していない場合には、一度システムを終了して、パソコン本体の電源を入れ直してください。それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でメディアを強制排出することができます。これを行なうときには、必ずパソコン本体の電源をOFFにしてください。

本製品付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに差し込んで押し込んでください。



メディアが2～3 cmほど排出されますので、静かに引き出してください。

ご注意

パソコン本体の電源がONの状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。

Macintosh 環境の場合

通常の場合、MOメディアはデスクトップ上のMOメディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてイジェクトします。もし、この操作を行ってもMOメディアが取り出せなくなってしまった場合は、以下のように試してみてください。

動作中のアプリケーションをすべて終了してお試しください。

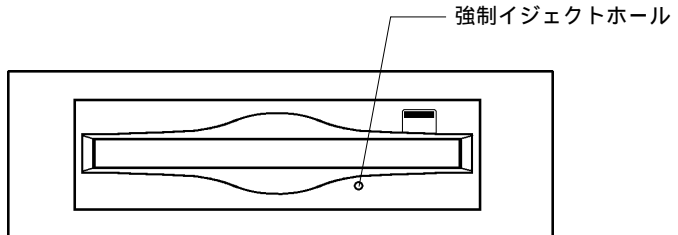
アプリケーションをすべて終了させても取り出せない場合は、一度システムを再起動してから試してください。

本製品のアイコンを1回クリックし選択状態にしアップルキー+「E」キーを押す。

マウスをクリックしたままの状態ですシステムを再起動してください。

それでも状態が改善されない場合は、パソコン本体のサイドカバーを開き、本製品を取り出して、本製品付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに差し込み、強く押すとMOメディアを強制排出することができます。これを行なうときには必ずパソコン本体の電源をOFFにしてください。

3



ご注意

パソコン本体の電源がONの状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品が認識されない。

- ・本製品の電源の状態と接続の状態をもう一度確認してください。
- ・ジャンパスイッチの設定と接続したフラットケーブルの場所は一致していますか？本製品を「マスタ」に設定して「スレーブ」のコネクタに接続した場合、本製品は認識されません。
- ・Windows の場合、ATAPI (E-IDE) インターフェースは正常に動作していますか？「デバイスマネージャ」を表示して、「ハードディスクコントローラ」に登録されている項目に「 x 」マークや「 ! 」マークがついていないかどうか確認してください。

デバイスマネージャを表示するには、Windows Me , 98/95 の場合は、「コントロールパネル」 「システム」を起動して、「デバイスマネージャ」タブをクリックします。

Windows 2000 の場合は、「コントロールパネル」 「システム」 「ハードウェア」タブを開いて、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

Windows XP の場合は、「コントロールパネル」から「プリンタとその他のハードウェア」をクリックし、「関連項目」から「システム」を選び、システムウィンドウから「ハードウェア」タブをクリックし、表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

MOメディアのアクセス時にエラーが発生する。

- ・MOメディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってみてください。
- ・MOメディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生するMOメディアのデータをバックアップして、物理フォーマットからやり直してください。

MOメディアに書き込みができない。

- ・MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

特定のMOメディアをアクセスできない。

- ・そのMOメディアはフォーマットされていますか？ 一般にMOメディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。本書で説明されている手順でフォーマットを行ってください。
- ・Macintoshシリーズ用にフォーマットされたディスクはWindows環境で読むことはできません。異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピーフォーマットのMOメディアを使用してください。
- ・そのディスクが本製品で使用できるタイプかどうかを本書7ページの表で確認してください。

特定のソフトウェア（ディスク修復ツールなど）でMOメディアを使用できない。

- ・一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアがMOメディアを動作対象としているかどうかを確認してください。
- ・一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

MOメディアの取り出しができない。

- ・「3.3 メディアのセット/取り出しについて」をご参照ください。

Windows95でMOメディアの

物理フォーマット中にエラーが発生する。

- ・ATAPI (E-IDE) インターフェースのドライバのバージョンが古いとこのような問題が発生する場合があります。パソコン本体メーカー（もしくはマザーボードメーカー）に、最新のドライバの入手方法をお問い合わせください。

Windows95 で本製品付属のフォーマッタから MOユニットが認識されない。

- ・ATAPI (E-IDE) インターフェースのドライバのバージョンが古いとこのような問題が発生する場合があります。パソコン本体メーカー（もしくはマザーボードメーカー）に、最新のドライバの入手方法をお問い合わせください。

WindowsNT4.0 で

物理フォーマット中にエラーが発生する。

- ・WindowsNT4.0の「Service Pack 3」によるアップデートを行っていない場合、物理フォーマットを行うとエラーが発生します。アップデートを行うことによってこの問題を回避することはできませんが、WindowsNT4.0をプレインストールしたシステムではその他の問題が発生する場合がありますので、パソコン本体メーカーに「Service Pack 3」によるアップデートを行っても問題ないかどうかをお問い合わせください。

WindowsNT4.0でMOメディアをアクセスすると

「パラメータに誤りがあります。」のエラーが表示される。

- ・WindowsNT4.0以外のOSでMOメディアをフォーマットして、これをWindowsNT4.0上からアクセスしようとするこのエラーが発生する場合があります。MOメディアをフォーマットした環境に戻って保存されたデータをバックアップしてから、本製品添付のフォーマッタでMOメディアを再フォーマットしてください。

その他：ソフトウェアの最新バージョン入手方法など

- ・弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーもありますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

4.2 保守とその他

メディアのクリーニングについて

MOメディアは1～3ヶ月に1回程度、別売のメディアクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なります。)クリーニングの方法については、クリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

本製品用のメディアクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LMO-330-02

レンズ・ヘッドのクリーニングについて

空気中に浮遊するほこり、ちり、およびタバコの煙などが、本製品内部のレンズ・ヘッドに付着すると性能が低下することがあります。

本製品内部のレンズ・ヘッドは3ヶ月に1回程度、別売のレンズクリーニングキットを使用してクリーニングする必要があります。(使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なります。)クリーニングの方法については、クリーニングキットの使用方法をご参照ください。

本製品用のレンズ・ヘッドクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LMO-640-02



ご注意

- ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットを使用する場合は、ACアダプタを接続し電源を供給する必要があります。
 - ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットは必ず弊社販売の「LMO-640-02」をご使用ください。市販のものを無理に使用すると、機器を損傷する場合があります。
-

MOメディアのラベルについて

MOメディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に1枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないようにMOメディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なように糊が弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2枚貼りするとMOユニット内部でラベルがはがれて、MOメディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。



斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

4.3 オプション品について

弊社では本製品に接続可能な内部フラットケーブルをを別売のオプション品として取り扱っております。オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www2.ld.logitec.co.jp/>

型番	形状	長さ
CB-F 40/66	ピンヘッダータイプ 40ピン × 3	0.4 m

UltraATA 66/100/133 対応 80 芯ケーブル使用

ハードウェア仕様

機種名	LMO - UA2300K (B)	LMO - UA1354K (B)	LMO - UA654K (B)
メディアタイプ *1	3.5型MOメディア ノーマルタイプおよび オーバーライトタイプ		
ディスクあたりの記憶容量	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB 1.3GB / 2.3GB	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB 1.3GB	128MB / 230 MB 540MB / 640 MB
平均シークタイム	18ms	23 ms	
ディスク回転数	5455rpm *2 3637 / 4138 / 4801 rpm 3637rpm	5455 rpm *3 3637 rpm	5455rpm
最大同期転送速度	33.3 MB / s *4		
キャッシュメモリ	8MB	2 MB	
インターフェース	ATAPI (E - IDE)		
コネクタ形状	ピンヘッダータイプ 40 ピン		
環境条件 *5	動作時		パソコン本体に準じる
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 85 %
入力電圧	DC + 5V ± 5 %		
消費電力 (定格)	7.0 W	6.0 W	
外形寸法 幅 × 高さ × 奥行き	149 × 42.8 × 180 mm *6		
質量	600 g		

*1 対応メディアについては本書の 1 . 1 節参照。

*2 2.3GB MO メディア使用時は 3637rpm
1.3GB MO メディア使用時は 3637/4138/4801rpm
(書き込み位置により自動切換え)

*3 1.3GB MO メディア使用時は 3637rpm。

*4 理論値。

*5 ただし結露なきこと。

*6 突起部を除く。

